

令和6年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

資 料

令和6年5月28日（火）

サン・ピーチ岡山

# 目 次

## I 令和5年度の取組実績について

1	会議の開催	.....	1
2	重点取組事業		
	(1) おかやま・もったいない運動の推進	.....	2
	(2) 食品ロス削減の推進	.....	4
	(3) プラスチック3Rの推進	.....	6
	(4) 海ごみ対策	.....	7
3	その他普及啓発事業等	.....	9

## II 令和6年度の取組（案）について

1	会議の開催	.....	1 1
2	重点取組事業		
	(1) おかやま・もったいない運動の推進	.....	1 2
	(2) 食品ロス削減の推進	.....	1 3
	(3) プラスチック3Rの推進	.....	1 4
	(4) 海ごみ対策	.....	1 4
3	その他普及啓発事業等	.....	1 5

## I 令和5年度の取組実績について

### 1 会議の開催

令和5年度岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議に係る会議を次のとおり開催した。

#### (1) 本会議

- ア 日 時 令和5年5月24日(水) 10時～12時
- イ 場 所 ピュアリティまきび
- ウ 出席者 委員13名、事務局
- エ 議 題
  - ・令和4年度の取組実績について
  - ・令和5年度の取組(案)について

#### (2) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- ア 日 時 令和5年10月23日(月) 9時30分～12時30分
- イ 場 所 警察本部庁舎2階 入札室
- ウ 出席者 審査員3名(赤井委員、中里委員、守屋委員)

#### (3) ワーキング会議

- ア 日 時 令和6年2月14日(水) 14時～15時30分
- イ 場 所 ピュアリティまきび
- ウ 出席者 ワーキング委員10名、事務局
- エ 議 題
  - ・令和5年度の取組実績について
  - ・令和6年度の取組(案)について
  - ・その他(食品ロス削減、海ごみ削減、プラスチック3Rの推進について)

## 2 重点取組事業

### (1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3Rの推進や食品ロス削減についての県民一人ひとりの意識改革と実践行動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を次のとおり推進した。

#### ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

##### ○環境絵馬展示・表彰、環境啓発パネル展

- ・開催期間：令和5年6月1日（木）～30日（金）
- ・場 所：アルネ津山及び周辺商店街
- ・内 容：美作県民局管内小学生の「地球にやさしい生活」環境絵馬の展示・表彰、環境啓発パネルの展示等

##### ○井原市環境フェア

- ・開催日時：令和5年6月4日（日）9時～12時
- ・場 所：井原駅前広場、井原駅ビル
- ・内 容：各種エコ体験、パネル展示、フードドライブ等（来場者：約1,000人）

##### ○環境フェスタ in せとうち

- ・開催日時：令和5年6月18日（日）10時～13時
- ・場 所：瀬戸内市中央公民館
- ・内 容：環境に関するポスターの掲示やチラシの設置

##### ○1日環境大学～鏡野町の自然を満喫しよう～

- ・開催日時：令和5年8月19日（土）10時～16時30分
- ・場 所：苫田郡鏡野町（岡山県立森林公園ほか）
- ・内 容：豊かな自然を通じた体験型の環境学習（参加者：66人）

##### ○笠岡市環境フェスティバル

- ・開催日時：令和5年10月14日（土）9時30分～13時
- ・場 所：笠岡市民会館
- ・内 容：食品ロスや地球温暖化に関するパネル展示等

##### ○あかいわ eco・いいものまるしえ×消防フェス！

- ・開催期間：令和5年11月19日（日）10時～14時
- ・場 所：赤磐市環境センター
- ・内 容：シーグラスを使った工作体験やエネルギー体験

#### イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト

県内の小学生とその家族を対象に、夏休み期間を中心に家庭でできる「食品ロス削減」や「プラスチック・海ごみ削減」に向けた取組にチャレンジした報告を募集し、優秀なものを表彰した。

- ・応募数 22校、678点

- ・受賞者 個人の部（最優秀賞1名、優秀賞5名、努力賞10名）  
団体の部（最優秀賞1校、優秀賞3校）

○表彰式（環境おかやま大賞と共同開催）

- ・日時 令和5年12月23日（土）10時～11時
- ・場所 岡山コンベンションセンター2階 レセプションホール
- ・参集者 受賞者、保護者等
- ・内容 表彰状授与、講評、記念撮影等



○作品展示会

受賞作品16点について、表彰式会場及び県内3か所で展示を行った。

- ・岡山会場  
展示期間：令和6年1月5日（金）～14日（日）  
展示場所：岡山県生涯学習センター
- ・倉敷会場  
展示期間：令和6年1月26日（金）～2月9日（金）  
展示場所：倉敷市リサイクル推進センター
- ・津山会場  
展示期間：令和6年2月22日（木）～3月8日（金）  
展示場所：津山圏域クリーンセンター リサイクルプラザ

<優秀作品の一部>



<展示会の様子>



## (2) 食品ロス削減の推進

日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は523万トンもあるといわれている。（環境省・農林水産省「令和3年度推計」）このうち、食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量は279万トン、一般家庭から発生する家庭系食品ロス量は244万トンとなっている。

こうした状況を受け、県でも、食品ロスの削減を県民に広く呼びかけている。

### ア 事業系食品ロス削減事業

食品関連事業者とフードバンクをつなぐ「おかやまフードトリップ」を運用し、マッチングを進めている。

- ・運用開始日：令和5年4月3日
- ・登録者：食品提供者20事業者、フードバンク16団体（令和5年度末時点）
- ・令和5年度マッチング実績：25件

<受け渡しの様子>



### イ 食品ロス削減月間キャンペーン

「おかやま食品ロス<sup>ゼロ</sup>0アクション」をテーマに、県民にとって親しみやすく、食品ロス削減の重要性について理解と関心が深まり、削減に自主的に取り組んでもらえる普及啓発事業を実施した。

- ・「おかやま食ロス<sup>ゼロ</sup>0マルシェ」の開催  
日 時 9月30日（土）、10月1日（日）10時～16時  
場 所 ブランチ岡山北長瀬  
内 容 ・規格外の野菜や果物を活用したメニューを開発するなど、食品ロス削減に取り組む事業者（約20店）が集まるマルシェイベント  
・食品ロス削減を体感できるPRブースの出展  
来場者数 2,021人（2日間合計）
- ・「ハッシュタグ投稿キャンペーン」の実施  
期 間 9月30日（土）～11月30日（木）  
内 容 公式Instagramをフォロー  
→「手前どり」、「食べきり」、「使いきり」など食品ロスを減らす行



動に取り組み、「#おかやま食品ロス0アクション」のハッシュタグをつけて投稿

→抽選で、食品ロス削減につながる賞品をプレゼント

投稿数 430件

- ・「食ロス<sup>ゼロ</sup>キッチントークショー」の開催

日時等 ①9月30日(土) 11:00～、12:30～(各回40分)

講師 三宅八重子氏(フリーアナウンサー、野菜ソムリエプロ、栄養士)

②10月28日(土) 11:00～、14:00～(各回45分)

講師 五賀洋佳氏(ホットケーキミックス研究家、管理栄養士)

場所 ハッシュタグ岡山(ブランチ岡山北長瀬内)

内容 食品ロス削減につながる料理の知恵などを紹介、実演

参加者数 ①29名(2回合計) ②22名(2回合計)

<マルシェの様子>



<PRブースでの「手前どり」体験>



<キッチントークショー>



## ウ 地域で食品ロス削減の輪を広げよう！モデル事業

若い世代の食品ロス削減意識の醸成のため、くらしき作陽大学の大学生6名がフィールドワークで調査した地域の食材等の生産過程や食べきる工夫などを分かりやすく教材にまとめ、小学生に対し出前授業を行った。

- ・出前授業の内容

食品ロスに関するクイズ、大学生による劇、生産者のインタビュー動画等を通じて、小学生が自分たちで実践できる食品ロス削減について考えた。



- 倉敷市立連島北小学校
  - ・実施日 令和6年1月23日（火）
  - ・対象 全学年（99名）
- 倉敷市立第一福田小学校
  - ・実施日 令和6年1月29日（月）
  - ・対象 5年生（132名）



## エ 食品ロス削減・フードバンク紹介パンフレットの作成

各家庭での食品ロス削減に向けて、気軽に始められる具体的なアクションを分かりやすく記載したパンフレットを作成し、配布した。

## オ 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」との連携（事務局：福井県）

全国 47 都道府県 439 自治体（うち県内 9 自治体）が参加

県内参加自治体：岡山県、岡山市、倉敷市、玉野市、笠岡市、瀬戸内市、真庭市、里庄町、矢掛町

## （3）プラスチック 3 R の推進

プラスチックは生活に欠かせない素材で、大量消費される一方、環境に与える影響が大きな問題となっている。県民及び排出事業者へプラスチック 3 R の情報提供を行い、廃プラスチック削減に向けた主体的な取組を促した。

### ア ワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減キャンペーン

若い世代を中心に県民への高い啓発効果が期待できるフェジアーノ岡山と連携し、使い捨てプラスチックの 3 R の意識醸成を図るため、キャンペーンを実施した。

- 実施日 令和5年9月9日（土） ベガルタ仙台戦
- 令和5年9月24日（日） ジュビロ磐田戦
- 令和5年10月1日（日） ジェフユナイテッド千葉戦

場 所 シティライトスタジアム

内 容

- ・フェジフーズ（飲食物）容器等の転換
 

飲料容器：プラ製⇒紙製	11,000 杯
スプーン：プラ製⇒木製、紙製	4,700 本
ストロー：プラ製⇒竹製	1,000 本
割り箸袋：プラ製⇒紙製	11,000 枚
- ・野外ステージイベント（クイズ大会）※9/9のみ
- ※おかやま海ごみゼロ PR 大使「ののちゃん」登壇
- ・試合入場者へ啓発資材の配布 ※9/9のみ



### ○啓発動画の配信

ファジアーノ岡山の選手が出演する啓発動画を作成

- ・9/9 ホームゲーム時（入場者数 14,156 人）に大型ビジョンにて放送
- ・ファジアーノ岡山公式 YouTube チャンネルへ掲載
- ・ファジアーノ岡山メルマガ登録者（約 36,000 人）へ配信

## イ おかやまプラスチック 3 R 宣言事業所

県内の事業所に、プラスチック製品の使用削減や、リユース、代替素材等の製品への切替え（例：従業員にマイボトル持参を促す、プラスチック製容器包装を減らす、プラスチック製品の材料を紙などの代替素材や生物分解性の材料に変更する）など、プラスチック製品の 3 R を宣言し取り組んでもらった。

宣言を行った事業所には登録証を交付し、取組を行っていることをアピールできる資材（のぼり旗など）を配布するとともに、事業所名や取組内容を県ホームページで公開している。

令和 5 年度は新たに、事業所ごとの独自の取組事例を収集し、優れた取組内容をイベント等で紹介した。

○登録事業所数：1,325 事業所（令和 5 年度末時点）

○優良事例紹介

- ・中国四国環境ビジネスネット（B-net）フォーラムでパネル展示（2/20）
- ・おかやまプラスチック 3 R 宣言事業所へメールマガジン配信（3 回）

## （4）海ごみ対策

海ごみの発生抑制に向け、住民意識の醸成と実践行動を促進するため、普及啓発事業を実施したほか、「おかやま海ごみクリーンアップ宣言」に基づき、市町村や経済団体との役割分担と連携・協力により、海ごみ等の回収・処理と発生抑制体制の構築に向けて効果的な取組を検討。瀬戸内 4 県（岡山、広島、香川、愛媛）と日本財団が連携協定を締結し、共同で推進している包括的的海洋ごみ対策プロジェクト「瀬戸内オーシャンズ X」においても海ごみ対策に取り組んだ。

### ア 普及啓発

#### ① 海ごみ・プラごみ削減フォーラムの開催

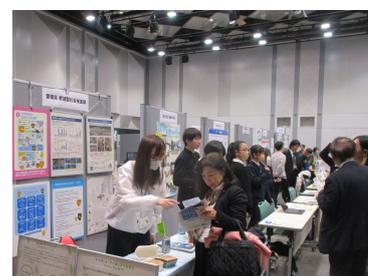
県内外で活動する団体や企業、学校などがそれぞれの取組を紹介するブース展示（30 ブース程度）のほか、海ごみ問題に関する基調講演やパネルディスカッションなどを行うフォーラムを開催し、相互交流を促した。

日 時：令和 6 年 2 月 23 日（金・祝）13 時～16 時

場 所：岡山コンベンションセンター

1 階イベントホール

来場者数：約 300 人



## ② 用水路・海ごみ回収ロボットアイデアコンテストの実施

海ごみ問題の現状を自分事として捉えてもらい、削減に向けた意識の定着を図るため、高校生等を対象に「現地見学ツアー」と「アイデア発表会」で構成するコンテスト形式のイベントを実施した。

### (i) 現地見学ツアー

日 時：令和5年8月26日（土）9時～13時20分

見学場所：笹ヶ瀬川河川敷（岡山市南区）、鹿久居島（備前市日生町）

内 容：講師が同行し、海ごみ問題について学習

笹ヶ瀬川河川敷では10分程度の清掃活動を実施

### (ii) アイデア発表会

日 時：令和5年11月26日（日）13時30分～15時30分

場 所：岡山国際交流センター8階イベントホール

審査員：工藤 裕 氏（株式会社天の枝 元代表取締役）

五福 明夫 氏（岡山県立大学 副学長）

塩飽 敏史 氏（公益財団法人 水島地域環境再生財団 理事）

矢萩 陽子 氏（瀬戸内オーシャンズX推進協議会 事務局）

審査結果：

最優秀賞 岡山県立玉島高等学校 難波 俊介 さん

タイトル：「カモシーくん 1号」

優 秀 賞 岡山県立岡山芳泉高等学校 木内 樹生 さん

タイトル：「ゴミは吹っ飛べ！」

岡山県立水島工業高等学校 山本 歩夢 さん

タイトル：「海ごみ回収機 MECIA」

入 選 岡山県立総社南高等学校 石川 悠太 さん

タイトル：「漂流ゴミ回収ロボ」



## ③ 海ごみ啓発資材の配布

海ごみ削減に向けた啓発メッセージ入りの付箋を配布した。



## イ 発生抑制対策

### ① 漂着ごみ組成調査（県内27か所）

漂着ごみが多く、地域住民による清掃活動が行われていないか頻度が少ない場所を選定し、漂着ごみの回収及び分類、計測、記録を行い、実態の把握を行った。

### ② 岡山県海ごみ対策連絡調整会議の開催

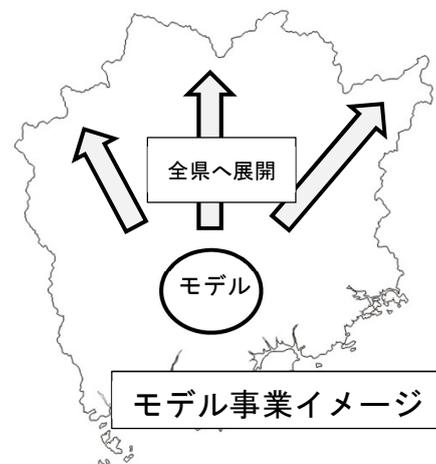
全県で海ごみ対策を推進するため、岡山県海ごみ対策連絡調整会議を開催し、各構成員の取組について共有するとともに、次年度以降、全市町村で清掃イベント等を実施する全県統一キャンペーンや、会議の名称変更について決定した。

## ウ 回収

### ① 河川ごみ等回収・発生抑制モデル（地区拡大）事業

ごみの回収活動が「自発的」「継続的」に行われるよう、町内会や学校等において、地域の実情に応じたごみ回収活動のシステムづくりを行った。

モデル内容	場 所
学校× 町内会（公民館）	R4: 操南中×町内会 岡大附属中×地元団体 R5: 旭東中・上南中×上南公民館 烏城高×京山公民館 福田中×福田公民館
定例会に合わせた 清掃活動	倉敷医療生活協同組合
用水路にごみ回収 ネットを張り、日 常的にごみ回収す る体制構築	R4: 倉敷市内 R5: 岡山市内



### ② 河川ごみ等回収促進事業

個人や団体、企業等による河川等における清掃ボランティア活動が一層活発化するよう、市町村と連携した回収後のごみの運搬、処分や事前の草刈りを実施。

※ 一定規模以上（45ℓごみ袋で概ね 50 袋以上回収見込み）の清掃活動に限る。

#### (i) 河川ごみ等の運搬、処分費用の負担

市町村等が河川等管理者や清掃ボランティアからの依頼に基づいて行う回収後の河川ごみ等の運搬、処分に要する経費について、県管理エリアの内外にかかわらず、県が負担した。（令和 5 年度：12 件）

#### (ii) 事前準備としての草刈り（県管理地）

(i) の対象規模以上の清掃活動が行われる場合、進入道路等部分的な草刈りを行う必要がある場合には、県が草刈りを実施した。（令和 5 年度：2 件）



### ③ 海ごみクリーンアップ事業

市町村による海ごみの回収・処理及び発生抑制対策に係る事業費について、補助金として交付した。（令和 5 年度：11 市町）

## 3 その他普及啓発事業等

### (1) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発

再生品の需要を喚起し、資源の循環的な利用を促進するため、岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行った。

＜テクノサポート岡山での常設展示＞

○認定件数（令和5年度末時点） 363製品

○令和5年度普及啓発実績

- ・イベント等への出展（エコ製品の展示等）

6/4 井原市環境フェア

9/17 くらしき環境フェア

10/14 笠岡市環境フェスティバル

- ・テクノサポート岡山展示室での常設展示(3/21～)
- ・県ホームページへの掲載
- ・普及啓発パンフレット「おかやまエコガイド」の作成・配布



## （2）岡山エコ事業所認定制度の普及啓発

事業所における排出抑制、グリーン調達の促進等を図るため、岡山エコ事業所（ゼロエミッション事業所、一般事業所、小売店）認定制度の周知を図るとともに認定を行った。

○認定件数（令和5年度末時点）

- ・排出抑制、再利用に取り組む「ゼロエミッション事業所」 49事業所
- ・再生品を使用する「一般事業所」 29事業所
- ・再生品等を販売する「小売店」 196事業所

## （3）3Rに関する啓発事業の実施

### ア 岡山県立図書館との連携展示

10月の食品ロス削減月間キャンペーン事業に合わせて啓発を行った。

- ・期 間：令和5年9月22日（金）～10月15日（日）
- ・場 所：岡山県立図書館2階 閲覧室
- ・内 容：啓発パネル等を展示するとともに、関連図書を紹介

### イ もったいないフェアの開催

- ・期 間：令和5年10月11日（水）～23日（月）
- ・場 所：晴れの国おかやま館（岡山市北区表町）
- ・内 容：3R及び食品ロス削減に関連する県産品の展示・販売



### ウ 3R等に関するアンケート調査

海ごみ問題・食品ロス問題など、県民の3R等に関する意識調査を行い、各施策の基礎資料とするためウェブアンケートを実施した。

- ・調査時期：令和6年2月
- ・調査内容：県民の3R、海ごみ問題、食品ロス問題等の関心度や意識等
- ・調査人数：1,231人（岡山県民）

## Ⅱ 令和6年度の取組(案)について

### 1 会議の開催

#### (1) 本会議

- ア 日 時 令和6年5月28日(火) 14時～16時  
イ 場 所 サン・ピーチ OKAYAMA  
ウ 出席者 委員、事務局  
エ 議 題 ・令和5年度の取組実績について  
・令和6年度の取組(案)について

#### (2) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- ア 日 時 令和6年10月(予定)  
イ 場 所 岡山市内  
ウ 出席者 審査員4名

#### (3) ワーキング会議

- ア 日 時 令和7年2月頃  
イ 場 所 岡山市内  
ウ 出席者 委員、事務局  
エ 議 題 (未定)

## 2 重点取組事業

### (1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3Rの推進についての県民一人ひとりの意識改革と実践行動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を実施しており、令和6年度は次のとおり行う。

#### ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

「循環型社会の形成」「もったいない」をテーマに、県民が日常生活の中で実践できることを講演、活動事例発表、パネルディスカッション等を通じて提示するとともに、県の3R関連施策や環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容について展示するブースを設置することなどにより、広く情報の発信・収集・交換を図るイベントとする。

3 県民局ごとに、地域の状況に応じた内容で企画・実施する。

- ・開催時期：令和6年5月～令和7年3月（予定）
- ・会場：3 県民局管内各1～2か所程度
- ・参加者：県民、消費者・環境団体、事業所、行政職員等
- ・プログラム（例）

基調講演、パネルディスカッション

活動事例発表：「もったいない」の取組を実践している団体・学校、企業

展示コーナー：岡山県エコ製品、岡山エコ事業所、プラスチック等の3R、食品ロス削減、海ごみ対策等の県の施策とともに、環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容を展示・紹介

#### イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの実施

もったいない精神の普及、3Rに対する意識の高揚、再生品の使用促進を図るため、小学生を対象として家庭で食品ロス削減やプラスチックごみの削減、海ごみ削減を通じた3Rの取組を行うコンテスト及び表彰式を実施する。

- ・主催等

主催：岡山県

共催：岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議・(公財)岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

- ・対象者：県内に住んでいる小学生とその家族
- ・募集方法：6月中旬頃、県内全小学校に募集案内を送付
- ・応募期限：令和6年9月13日（金）（予定）
- ・取組内容：令和6年8月31日までの1週間、小学生とその家族が、家庭での日常生活を通じて、食品ロス、プラスチックごみ、海ごみ削減に向けた改善策を工夫し実践する。

A 食品ロス削減チャレンジ

…買い物や食事における食品ロス削減に向けた取組

B プラスチック・海ごみ削減チャレンジ

…プラスチック製品の使用削減、河川等へのごみの流出防止等の取組

・応募方法：取組結果を報告用紙に記入の上、提出

・表彰（予定）

（個人の部）最優秀賞 1名 表彰状・副賞（5千円相当）

優秀賞 5名 表彰状・副賞（3千円相当）

努力賞 10名 表彰状・副賞（2千円相当）

参加賞 応募者全員

（団体の部）最優秀賞 1校 表彰状・副賞（1万円相当）

優秀賞 若干校 表彰状・副賞（5千円相当）

・選考方法：

主催者が委嘱する審査員により選考委員会において審査の上、決定

・表彰式：令和6年12月頃(予定)に岡山市内で行う。

## （2）食品ロス削減の推進

家庭系食品ロス削減に向け、県民の意識を高める啓発事業を強化するとともに、事業系食品ロスについても削減に向けた取組をさらに行っていく必要があることから、次の事業を実施する。

### ア 事業系食品ロス削減事業

令和5年4月に運用を開始した、未利用食品を提供したい食品関連事業者と提供を受けたいフードバンクをつなぐマッチングサービス「おかやまフードトリップ」の周知を図る。

### イ 実践を促す！食品ロス削減月間キャンペーン事業

食品ロス削減月間の10月を中心に、スーパーなどの食品小売店において、食品ロス削減につながる自発的な購買行動を県民の方へ促すような県民参加型キャンペーンを企画・実施し、家庭系・事業系双方の食品ロス削減につながる消費行動の定着を図る。

### ウ 地域で食品ロス削減の輪を広げよう！モデル事業

大学生がフィールドワークで研究した食品ロス削減内容を教材にまとめ、小学生等に出前授業を行うことで、若い世代の食品ロス削減意識の醸成を図る。

### エ 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」との連携

食べきり塾（食品ロス削減の学習会）への参加や全国共同キャンペーンと連携した取組を実施する。

## オ その他啓発

Web活用等による広報、食品ロス・家庭ごみ削減に向けた啓発資材の作成等を行う。

### (3) プラスチック3Rの推進

海洋プラスチックごみによる環境汚染問題の深刻化、プラスチック資源循環法の施行に伴う資源循環の重要性の一層の高まりを受け、次の事業を実施する。

#### ア ワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減キャンペーン

飲食店等に紙や竹、バイオプラスチック及び再生プラスチックなどのプラスチック代替素材を含有した製品を試験的に提供し、継続的な紙容器等利用の促進を行い、併せて県民へのプラスチックごみ削減について啓発するキャンペーンを実施する。

#### イ おかやまプラスチック3R宣言事業所

プラスチック製品の使用削減や、リユース、代替素材等の製品への切替え、海ごみ削減のためのごみ拾いなど、プラスチック3Rを宣言して取り組む事業所に登録証を交付し、のぼり旗などの啓発資材を提供するとともに、事業所名及び取組内容を県ホームページで公開する。

令和6年度は新たに、優良取組を実践している宣言事業所を取材し、その取組内容について県ホームページやパンフレット等で情報発信するなど、取組の拡大を図る。

#### ウ プラスチック3Rに関する広報

パンフレット等の啓発資材を作成し、県内の環境イベント等で配布するとともに、SNSなど各種媒体を利用して広報を行う。

### (4) 海ごみ対策

瀬戸内海の家ごみは河川等を通じて流れ込んだ生活系のごみが大半であることから、普及啓発による県民の発生抑制への意識づけが必要であるとともに、効果的な回収・処理体制の構築に向けた検討が必要である。また、瀬戸内オーシャンズX等の活動を通じて、瀬戸内海沿岸県と広域的に連携して海ごみ対策に取り組む。

#### ア 普及啓発

##### ① 海ごみ・プラスチックごみ削減フォーラムの開催

瀬戸内海のごみ削減に取り組む団体・企業等や、行政、学校、公民館等の取組を紹介するブースを設置し、交流やマッチングの場とするフォーラムを開催し、個々の活動や連携の広がりを促す。

##### ② 海ごみ啓発資材の作成、広報

海ごみ対策やマイクロプラスチックの海への影響等を紹介する啓発資材の作成、広告媒体への掲載を行う。

## イ 発生抑制対策

### ① 全県統一キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」【新規】

市町村等をはじめとする岡山県海ごみ対策推進協議会の構成員と連携し、河川等でのごみの回収活動を推進する全県統一キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」を展開する。

### ② 海ごみ対策推進協議会の開催

### ③ 漂着ごみ組成調査

漂着ごみが多く、地域住民による清掃活動が行われていないか頻度が少ない場所を選定（県内 27 か所）し、漂着ごみの回収及び分類、計測、記録を行い、実態の把握を行う。

## ウ 回収

### ① 河川ごみ等回収・発生抑制モデル地区推進事業

地域の公民館を拠点に学校や町内会などと連携したモデルを、他地区にも拡大し、ごみの回収活動が県内全域で「自発的」「継続的」に行われるよう、普及拡大を図る。

### ② 河川ごみ等回収促進事業

清掃ボランティア活動が一層活発化するよう、市町村と連携し回収後の河川ごみ等の運搬、処分や事前の草刈りを実施する。

※ 一定規模以上(450 ゴミ袋で概ね 50 袋以上回収見込み)の清掃活動に限る。

### ③ 河川ごみ等クリーンアップ事業

市町村が行う河川ごみ等の回収・処理、発生抑制対策、普及啓発事業に対する補助を行う。

### ④ 海ごみクリーンアップ事業

市町村による海ごみの回収、処理及び発生抑制対策事業に対する補助を行う。

### ⑤ 海底ごみ回収モデル事業【新規】

漁業者が操業時に引き上げた海底ごみの持ち帰りを習慣化する方法と効果を検証する。

## 3 その他普及啓発事業等

(1) 岡山県エコ製品認定制度や認定製品及び岡山エコ事業所（ゼロエミッション事業所・一般事業所・小売店）認定制度や認定事業所の取組を広く周知することにより、グリーン調達等の促進を図る。

(2) 3R 推進につながる各種取組の情報提供等を行う。